

政策・施策・事業整理票

スポーツ庁

政策

政策目標	11 スポーツの振興
概要	世界共通の人類の文化の一つであるスポーツを国民の成熟した文化として一層根付かせ豊かな未来を創るとともに、全ての人々がスポーツの力で輝き、前向きで活力ある社会と、「きずな」の強い世界を創る。



施策

※平成29年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのか分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	11-3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
施策の概要	国際競技大会等において優れた成績を挙げる競技数が増加するよう、各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。日本オリンピック委員会(JOC)及び日本パラリンピック委員会(JPC)の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、 我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう支援 する。
達成目標1	中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立 、次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築、スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実及びトップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実を通じて、各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。



事業

※平成29年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているのか分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	女性アスリートの育成・支援プロジェクト	
事業の目的	スポーツ基本計画(平成29年3月24日 文部科学省策定)に掲げる目標の一つである「 我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収める。 」ことを実現するため、 女性アスリートの国際競技力向上に向けた支援や、ジュニア層を含む女性アスリートが健康で競技スポーツを継続できる環境を整備 する。	
事業概要	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等における女性アスリートの国際競技力向上のために、 女性トップアスリート及び次世代(ジュニア)アスリートに着目して、女性特有の課題の解決に向けた調査研究や、医・科学サポート等を活用した支援プログラムを実施する。また、女性競技種目における戦略的かつ実践的な強化プログラムや、女性特有の視点とアスリートとしての高い技術・経験を兼ね備えた女性エリートコーチを育成するプログラムを実施する。また、全国の女性アスリートの相談・受診環境改善に向け、産婦人科医等に対し、女性アスリート特有の課題等に関する知識の普及を行う。	
アウトカム	①	定量的な成果目標 個人のニーズに応じたトレーニング等の強化を行いつつ、 女性特有の疾病・障害や妊娠・出産等のライフイベントによる、競技スポーツからの離脱の防止及び競技復帰支援に向けた支援体制が充実する。 成果指標 医・科学サポート等の支援プログラムの主な対象となる女性トップアスリート層において、女性特有の疾病である無月経を含む 月経周期異常のアスリートの占める割合
	②	定量的な成果目標 女性アスリート3主簿(利用可能エネルギー不足、無月経、骨粗鬆症)などの女性特有の課題の解決に向けて知見が集積され、女性アスリートや指導者に還元される。 成果指標 外部有識者によって 有効と評価された調査研究の割合
	③	定量的な成果目標 個人のニーズに応じたトレーニング等の強化を行いつつ、 女性特有の疾病・障害や妊娠・出産等のライフイベントによる、競技スポーツからの離脱の防止及び競技復帰支援に向けた支援体制が充実する。 成果指標 女性アスリートサポートシステム利用者アンケートにて支援に対する満足度 を5段階評価し、4以上の評価の割合
	④	定量的な成果目標 個人のニーズに応じたトレーニング等の強化を行いつつ、 女性特有の疾病・障害や妊娠・出産等のライフイベントによる、競技スポーツからの離脱の防止及び競技復帰支援に向けた支援体制が充実する。 成果指標 ママアスリートのオリ・パラ大会への出場人数
	⑤	定量的な成果目標 女性トップコーチの育成やハイレベルな競技大会の開催を通じて、 女性競技種目における戦略的かつ実践的な強化が行われる。 成果指標 オリ・パラ大会日本選手団における女性コーチの割合
	⑥	定量的な成果目標 個人のニーズに応じたトレーニング等の強化を行いつつ、 女性特有の疾病・障害や妊娠・出産等のライフイベントによる、競技スポーツからの離脱の防止及び競技復帰支援に向けた支援体制が充実する。 成果指標 女性ジュニアアスリート指導者講習会参加者アンケートにて講習会に対する満足度 を5段階評価し、4以上の評価の割合
	⑦	定量的な成果目標 個人のニーズに応じたトレーニング等の強化を行いつつ、 女性特有の疾病・障害や妊娠・出産等のライフイベントによる、競技スポーツからの離脱の防止及び競技復帰支援に向けた支援体制が充実する。 成果指標 個別サポートプログラムに対する競技団体アンケートにて支援に対する満足度 を5段階評価し、4以上の評価の割合
	⑧	定量的な成果目標 女性トップコーチの育成やハイレベルな競技大会の開催を通じて、 女性競技種目における戦略的かつ実践的な強化が行われること 成果指標 モデルプログラムとして参考になったとアンケート回答した競技団体数
	⑨	定量的な成果目標 女性トップコーチの育成やハイレベルな競技大会の開催を通じて、 女性競技種目における戦略的かつ実践的な強化が行われること 成果指標 JOCナショナルコーチアカデミーの女性受講生の比率
アウトプット	(1)	女性アスリートの戦略的強化に資する、 女性アスリート特有の課題の解決に向けた調査研究を実施する。(調査研究数)
	(2)	無月経・月経痛、月経前症候群など女性アスリートのコンディショニングに影響を与える疾患を把握し、 産婦人科医等の専門家が医学的なサポートを行う。(医学サポートシステムの利用人数)
	(3)	女性ジュニアアスリートが心理的・肉体的に大きく変化する 成長期(9~18歳程度)に対して、栄養・トレーニング・心理などの各分野において、保護者・指導者も含め、ニーズに応じた必要な医学サポートを実施する(ジュニアアスリート指導者向け講習会の参加人数)
	(4)	女性特有の視点と、アスリートとしての高い技術・経験を兼ね備えたロールモデルとなる女性エリートコーチを育成し、各競技団体の女性指導者を増やし、競技力向上を図る。 (女性エリートコーチの育成人数)
	(5)	男性競技種目と比較すると相対的に少ないハイレベルな競い合いの場を創り出す競技大会を設定 し、女性アスリートの競技力向上を図るとともに、女性アスリート特有の課題に対応する医科学プログラムや、女性指導者等スタッフに向けた講習会を実施する。 (実施した競技団体数)
本事業の成果と上位施策との関係	本事業は、女性アスリートの戦略的強化に資する調査研究や強化プログラムおよび医・科学サポート等の支援プログラムを実施することで、女性アスリートの競技力の向上を図ることを目的としているものであり、競技力の向上がオリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることにつながる。	